



一 中 の 風

No. 1

小金井市立小金井第一中学校 学校だより

「逆境の中でこそ成長する」

校長 門脇 利種

「丸木小屋で生まれ、小学校を中退し、社会に出て会社を創立するがすぐに破産、さらには不幸な結婚をし、上院、下院議員に出馬しても何度も落選する」・・・これほど、度重なる挫折を経験した歴史上の有名人がいます。皆さんは誰だか知っていますか。どうみても輝かしいとは言えない経歴をもったこの人こそ、アメリカ史上、最も偉大な大統領と呼ばれるエイブラハム・リンカーン、その人です。

アメリカの高校の教科書では、奴隷解放の偉大な業績があった大統領ということもさることながら、すさまじいほどまでの逆境を克服した人として紹介されているそうです。私も、このアメリカの高校の教科書には大賛成。もちろん、数学や英語等をきちんと教えることも大切です。しかし、それ以上に、いろいろな困難な場面に出会った時、それをどう切り抜けるか知らせておくことがもっと大切だと思うのです。それが本当の学力を身に付けることだと思うのです。

というのは、人は誰でも、大小の差はあったとしても、また、好むと好まざるにかかわらず、勝負しなければならない場面が多いからです。しかも、勝負した場合、勝つことよりも負けることの方が遥かに多いと思って間違いないでしょう。常に勝ち続ける人生など、絶対にあり得ないのです。

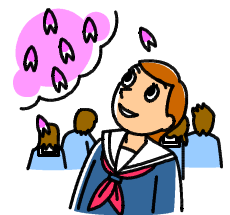
皆さんの中には、「負けることの多い人生なんてつまらない」と感じる人もいるかもしれませんが、しかし、そこが人生のおもしろいところなのです。恵まれた環境に置かれたおかげで、もてる素質が開くこともある反面、厳しい環境、いわゆる逆境にぶつかったおかげで成長、飛躍のパネになることも多いのです。苦勞することが、人間の器量を大きくし、魅力を増すのです。

今、どの家庭でも、子どもの数が少なくなりました。それにしたがって、子どもを大切に育てています。しかし、様子を見てみると、私には大切にされすぎてしまい、社会に出ても様々な困難を前に立ち向かおうとせず、逃げてしまう若者が増えているように思うことがあります。

人間を駄目にする一番効果的な方法は、「好きな食べ物をたらふく食べさせ、毎日テレビやマンガ、インターネットを好きなだけ見せて、眠りたいだけ眠らせる」ことです。要するに、好き放題にさせておき、絶対に叱らないことなのです。そうしたらどんな人ができあがるか、皆さんもだいたい想像がつくのではないですか。

人は、人と人の間でいろいろな規制を受けて、初めて「人間」になるのです。規制が強いことを「逆境」といい、そのことが人をたくましい「人間」として成長させるのです。

何も自分から逆境に身をおけとまでは言うつもりはありません。しかし、逆境を恐れることなく、むしろ、活用できる人であってほしいと思います。ピンチをチャンスに変えることができる人って素晴らしいと思いませんか。



令和6年度 教職員異動 (転入のみ)

令和6年度 教職員組織